

大連市政治・経済情勢週報（平成 27 年 10 月 31 日～11 月 6 日）

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所

【政治】

10 月 30 日：唐軍書記ら市幹部、星海湾大橋・地下鉄 1 号線の竣工式に出席

30 日、唐軍書記、肖盛峰市長ら市幹部は、星海湾大橋と地下鉄 1 号線（第 1 期工程）の竣工・開通記念式典に出席した。予測によれば、同日に開通した蓮花山トンネルと星海湾大橋の登場により、中山路の交通量は今後 30%から 40%減少し、中山路及び黄浦路の渋滞を大幅に解消することが可能になるという。なお、来年には地下鉄 4 号線、5 号線、7 号線の工事が開始される見通し。（10 月 31 日付大連日報 1 面）

10 月 30 日：『大連日報』創刊 70 周年記念座談会開催

30 日、大連市は『大連日報』創刊 70 周年を記念する区・市・県党委書記及び宣伝部長による座談会を開催し、大連市党委の唐軍書記による重要指示が読み上げられた。唐軍書記は大連日報社に対し引き続き改革を深化させ、正確に世論を導き、党機関誌としての伝播力・指導力・影響力を高め、大連の振興・発展のために良好な世論空間を作りだしていくよう要求した。（1 日付半島晨报 A05 面）

2 日：大連市党委員会、市党員指導幹部会議を開催

2 日、大連市党委員会は市党員指導幹部会議を開催した。唐軍書記、肖盛峰市長ら市幹部が会議に参加し、第 18 期中央委員会第 5 回全体会議の精神を学習・貫徹していくこと等を確認した。（3 日付半島晨报 A11 面）

3 日：大連市党委常務委員拡大会議開催

3 日、唐軍書記の主宰により大連市党委常務委員拡大会議が開催され、第 11 期遼寧省党委員会第 11 回全体会議の精神を学習・貫徹し、大連市において如何にしてこの精神を実行に移していくかについて研究・討論を行った。会議では更に市政府党组が第 3 四半期までの活動報告を行った。（4 日付半島晨报 A11 面）

4 日：第 15 期大連市政府第 42 回常務会議開催

4 日、肖盛峰市長の主宰により第 15 期大連市政府第 42 回常務会議が開催され、「大連市政府部門による権利・職責のリスト化による動態的管理弁法」、「大連市人民政府による重大行政決定における合法性審査規定」、「大連市公共賃貸住宅管理弁法」等の規定について審議・採択を行った。（5 日付大連日報 1 面）

【経済】

第 3 四半期までの遼寧省 1 人あたり平均収入は 18,634 元

30 日、遼寧省統計局が発表した第 3 四半期までの経済統計によると、第 3 四半期までの遼寧省全体の GDP 総額は 20,404.6 億元で、前年同期比で 2.7%の上昇となった。同省 1 人あたりの平均収入（可処分所得）は 18,634 元で、前年同期比で 6.4%上昇した。（10 月 31 日付半島晨报 A09 面）

10月31日：唐軍書記・肖盛峰市長、中車集団の崔殿国董事長と会見

31日、唐軍書記、肖盛峰市長は中車集団の崔殿国董事長と会見した。会見後、大連市政府と同社は「戦略協力枠組み深化取決め」を締結し、双方は国際競争力を持った世界水準のレール交通設備製造基地建設のスピードを速めていくこと等について合意した。(1日付半島晨报 A05面)

2日：唐軍書記・肖盛峰市長、米グッドイヤーのクラマー会長と会見

2日、唐軍書記、肖盛峰市長は米グッドイヤー社のリチャード・クラマー会長（兼最高経営責任者）一行と会見した。会見上、唐軍書記、肖盛峰市長は同社の普蘭店工場の良い発展状況に対し祝福の意を表し、大連市は同社との協力関係を重視しており、同社の更なる投資拡大を期待していると述べた。クラマー会長はこれに対し、今後引き続き同社普蘭店工場に対し技術と資金を投入し、更に高品質で先進的な製品を生産して急速発展する中国市場の需要を満たしていきたいと述べた。(3日付半島晨报 A11面)

2日：唐軍書記・肖盛峰市長、パビリオングループの林暁春主席と会見

2日、唐軍書記、肖盛峰市長はマレーシア・パビリオングループの林暁春主席一行と会見した。唐軍書記は会見上、同グループのパビリオン大連ショッピングセンターのこれまでの活躍と業績を評価し、今後同グループが大連に更なる投資を行い、当地の商業・サービス業の発展を手助けしてくれることを望むと述べた。これに対し林暁春主席は、パビリオン大連は同グループが中国にて行った最初の投資プロジェクトであり、開業以来良好な業績をあげていると述べ、今後も大連に更なる投資を行っていく予定であり、同グループの大連における発展に自信を持っていると強調した。(3日付半島晨报 A11面)

3日：唐軍書記・肖盛峰市長、国家煙草専売局の凌成興局長と会見

3日、唐軍書記、肖盛峰市長は調査・研究のために大連を訪れた国家煙草専売局の凌成興局長一行と会見した。会見上、唐軍書記と肖盛峰市長は大連における煙草販売の状況を紹介し、今後も引き続き同局の支持・指導のもと、大連の煙草業界を発展させていきたいと述べた。(4日付半島晨报 A11面)

3日：肖盛峰市長、ドイツ鉄道インターナショナル・アジア太平洋地区の黄凱軍副総裁と会見

3日、肖盛峰市長はドイツ鉄道（DB）インターナショナル・アジア太平洋地区の黄凱軍副総裁一行と会見した。同社はドイツ鉄道グループの完全出資により設立された子会社で、世界各地のレール交通に対し投資や運営管理等のサービスを提供してきた。同社は10月30日に大連広盛元実業有限公司と戦略協力取決めを締結しており、双方は今後中国の都市鉄道交通の各分野において全面的な協力関係を展開していく予定。(4日付半島晨报 A11面)

5日：大連港グループ、サムスン電子らと戦略協力取決めを締結

5日、大連港グループはサムスン電子他2社と戦略協力取決めを締結し、肖盛峰市長とサムスン電子の李俊寧副社長が棒錘島賓館で行われた調印式に出席した。当該取決めによれば、大連港グループは今後その海運ネットワークと簡便な通関環境を生かし、大連を中継基地としてアジア太平洋地区と欧州を結ぶ国際物流ルートをサムスン電子のために提供する。(6日付大連日報 1面)

【社会・文化】

宅急便の実名登録制、11月1日より正式にスタート

大連市郵政管理局が発表した情報によれば、市内の各宅急便配送会社にて11月1日より正式に宅急便の実名登録制が開始されることとなった。これにより、以後宅急便を送る際には有効な身分証の提示及び関連の手続きが求められる。(1日付大連日報2面)

5日：第4回中国(大連)国際文化産業博覧会が開幕

5日、星海会展中心において、第4回中国(大連)国際文化産業博覧会が開幕した。当該博覧会には国内外から300社以上のメーカーが集結し、北京、河南、深圳、大連、景德鎮等の地域の特色ある芸術・工芸品が各地域ごとにまとめて紹介された。大連市工芸美術業界協会は100近いブースを出展し、貝殻彫刻、ガラスアート、真珠・宝石の装飾品等を展示し、来場者の注目を集めた。

(6日付大連日報1面)

【日本関連報道】

大連市、ハイテク人材の日本研修プログラムを起動

第一線で活躍するハイテク人材の業務知識と操作技能を高めるため、大連市人社局は条件に合う一部企業・事業体のハイテク人材を日本に派遣し、デジタル制御技術に関するハイレベル職業技能研修に参加させる方針を発表した。今般の日本研修プログラムは11月21日-12月4日、11月30日-12月13日の2回に分けて行われ、それぞれ25人のハイテク人材が2週間の研修期間で派遣される予定。(1日付大連日報2面)

肖盛峰市長、青森県副知事率いる青森県代表団と会見

先日、肖盛峰市長は青山佑治青森県副知事が率いる青森県代表団一行と会見を行った。肖盛峰市長は、2004年に大連市と青森県及び大連市と青森市の間で経済文化交流促進のための委員会が設立して以降、双方は様々な領域にて幅広い交流を展開してきたと述べ、代表団の来連を歓迎した。同副知事はこれに対し、青森県は今後も積極的に青森県・大連市の交流と協力を推進していくと述べた。(6日付大連日報1面)

(注) 10月31日～11月6日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。